

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報  
1-1. 申請団体

団体名	亀岡市役所	代表者名	桂川 孝裕		
担当者部署	政策企画部	連絡先電話番号	0771-55-9454		
担当者役職	係長	担当者氏名	佐藤 由紀子	連絡先E-mail	
住所	621-8501 京都府亀岡市安町野々神8番地				

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望  
支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	市川 博之
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	事務局の説明後、字幕をつけていただき、具体的な事例を交えながらこれまでDXに関わりが少なかった管理職の方にもわかりやすくDXとは何か、サービスデザイン思考とはどういったものか、なぜ必要なのか、これからオンライン化を推進していくために取組に必要なことなのか、講演いただいた。今回の取組がひとことではなく、自分たちにも関係のあるメリットのある自分ごとであることが認識してもらえたと考えられる。また、ワークを交えて研修をおこなっていただくことで、より身近な課題として実感してもらえた。
アドバイザーへの要望事項	特にありません。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日 (応募依頼より)	支援内容 (応募依頼より)	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和4年5月27日	支援・助言	有	令和4年5月24日	21
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)
	令和4年5月26日	支援・助言	14時00分	16時00分	0
				活動時間 (分)	120

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可  
掲載許可  掲載可 <https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】 職員 (課長級職員及び事務局)	人数 44 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい) 令和3年度から開始した情報化推進計画により自治体DXを推進することとしており、昨年度はDXについて職員の意識醸成を図る研修を複数回実施した。若手職員を中心にDXやサービスデザインの必要性について理解が深まったものの、実業務への落とし込みには至っていない。今年度取り組んでいく行政手続きのオンライン化や窓口のデジタルを市民にも職員にも喜んでもらえるものとするためには、業務フロー全体をサービスデザイン思考で見直していく必要があり、職員自らがBPRに取り組んでいく必要がある。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	行政手続きのオンライン化を推進していくにあたって、所属長になぜ今DXに取り組むのか、サービスデザインの必要性を認識していただく。また、管理職としてDX推進にあたって大切にいただきたい観点・視点とマインドについて学んでいただき職場内の実践につなげてもらう。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	下記の内容について、オンラインで研修を実施。基本は自席での受講、一部職員のみ集合で実施。当日出席ができなかった職員は録画を視聴することで、研修を受講した。 【研修内容】 1 行政手続きのデジタル化・オンライン化推進事業について 2 自治体DX×サービスデザインで今こそ「業務改革を始める」(ワークあり) 3 取組を進めていくために	

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	これまで実施してきた担当者レベルの研修後アンケートにおいて、「自分たちだけで取り組むには限界がある」や「上層部のデジタルへの抵抗感が課題」といったDX推進に対する管理職の理解や支援に対する不安感を訴える声があった。今回の研修で受講者である課長級職員にDX推進には、それぞれの役割があること、管理職は担当者が動きやすいよう将来を見据えた視点を示し支えることが求められること、具体的な行動にどうつなげていくについて共通認識を持ってもらえた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	取組のキックオフ段階であり、現段階で必要な内容は網羅していただいている。具体的な業務欄卸やBPRIについては今後実施していく。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケート集計中(研修理解度、取組のイメージ理解度等)	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	「来庁しなくていい」「書かなくていい」「来庁しなくても待たなくていい」市役所 (最終目標年次: 令和7年度)	

## 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

Zoom ミーティング

市川 博之の画面を表示しています ビューオプション

参加者 (44)

情報政策課 佐藤 (自分)

京都府 亀岡市 (ホスト)

市川 博... (共同ホスト)

亀岡市情... (共同ホスト)

情報政策課 ... (共同ホスト)

招待 ミュートを解除します

チャット

地 D

総務課 牧野 から 全員

メッセージは誰に表示されますか? レコーディングが有効

宛先: 全員

ここにメッセージを入力します...

退出

Zoom ミーティング

市川 博之の画面を表示しています ビューオプション

参加者 (43)

情報政策課 佐藤 (自分)

京都府 亀岡市 (ホスト)

市川 博... (共同ホスト)

亀岡市情... (共同ホスト)

情報政策課 ... (共同ホスト)

招待 ミュートを解除します

チャット

地 D

総務課 牧野 から 全員

メッセージは誰に表示されますか? レコーディングが有効

宛先: 全員

ここにメッセージを入力します...

退出

最後に

「取り組みを進めていくために」

- 各部門の目的・目標を定め、現在の状況・達成・効果を見極める!
- 決断と判断を機動的に行う。  
クオリティオブサービスを向上させるために、何をすべきかを定める。
- ハード(ツール)とソフト(人)があってこそDX  
人材育成は、マネジメント職の仕事。動きやすい場を作ってあげる。

これらと担当者の熱量が噛み合っこそ、取り組みは進んでいく。

材育成はマネジメント職の仕事ですと動きやすい場  
を作ってあげましょうとで